

笑顔のために



富士宮市議会 5月臨時会・6月定例会
年4回発行



知らなかった…誰でも議会を見に来れるんですね！
18歳になったら、投票してみたい！
議場って、こんなにドキドキする場所なんですね！

本号の表紙

芝富小学校6年生の皆さんが、校外学習として議場の見学に来てくれました。議会についての説明に、皆さんが真剣に耳を傾けている姿が印象的でした。見学の感想を2ページ目(このページの裏)に掲載しています。是非ご覧ください。

目 次

- 01 表紙
- 02 目次／表紙説明
- 03 5月臨時会・6月定例会の流れ
- 04 5月臨時会議決結果、新正副議長挨拶
- 05 新議会運営委員会、新常任委員会紹介
- 06 6月定例会議決結果
- 07 6月定例会議決ピックアップ
- 08 議会運営委員会・常任委員会
- 10 数字で見る一般質問
- 11 一般質問（18人）
- 20 今後の定例会の予定／議員表彰／
新議会だより編集委員長挨拶



芝富小学校6年生 ～議場見学の感想～

- 市議会の仕組みがわかりました。
- 18歳になったら選挙に行けるとわかりました。
- 議長席に座れて貴重な体験ができました。
- 議会のことを学ぶことができました。これからの授業で生かしたいと思います。
- 見学したことで選挙などに興味がわきました。
- 議場に入れてすごく楽しかったです。
- 傍聴席にも優先席があることがわかりました。

～皆さんも、議場見学を してみませんか？～

事前にご連絡をいただければ、どなたでもご案内いたします（日程の都合によりお受付できない場合があります）。

小学校の社会科見学や中学校の職場体験授業としても、ご活用いただいています。



あなたの声をおまちしています

- 議会での質疑や議会だよりの内容等、ご意見・ご質問をお寄せください。
- 議場傍聴席のアンケート用紙、郵便、メール等でご意見お待ちしております。

アンケート用紙→傍聴席アンケート回収箱に
郵便→〒418-8601
富士宮市弓沢町 150 番地
メール→c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp



議会を『ネット』でみよう！

本会議のインターネット映像を配信しています。「録画映像」と「ライブ中継」の2種類です。下のQRコードからインターネット中継・会議録検索システムを見ることができます。

令和2年度の視聴実績

- 録画映像……5,827件
- ライブ中継…9,827件

※インターネット中継の配信内容は、公式記録ではありません。

富士宮市議会 検索



5月臨時会

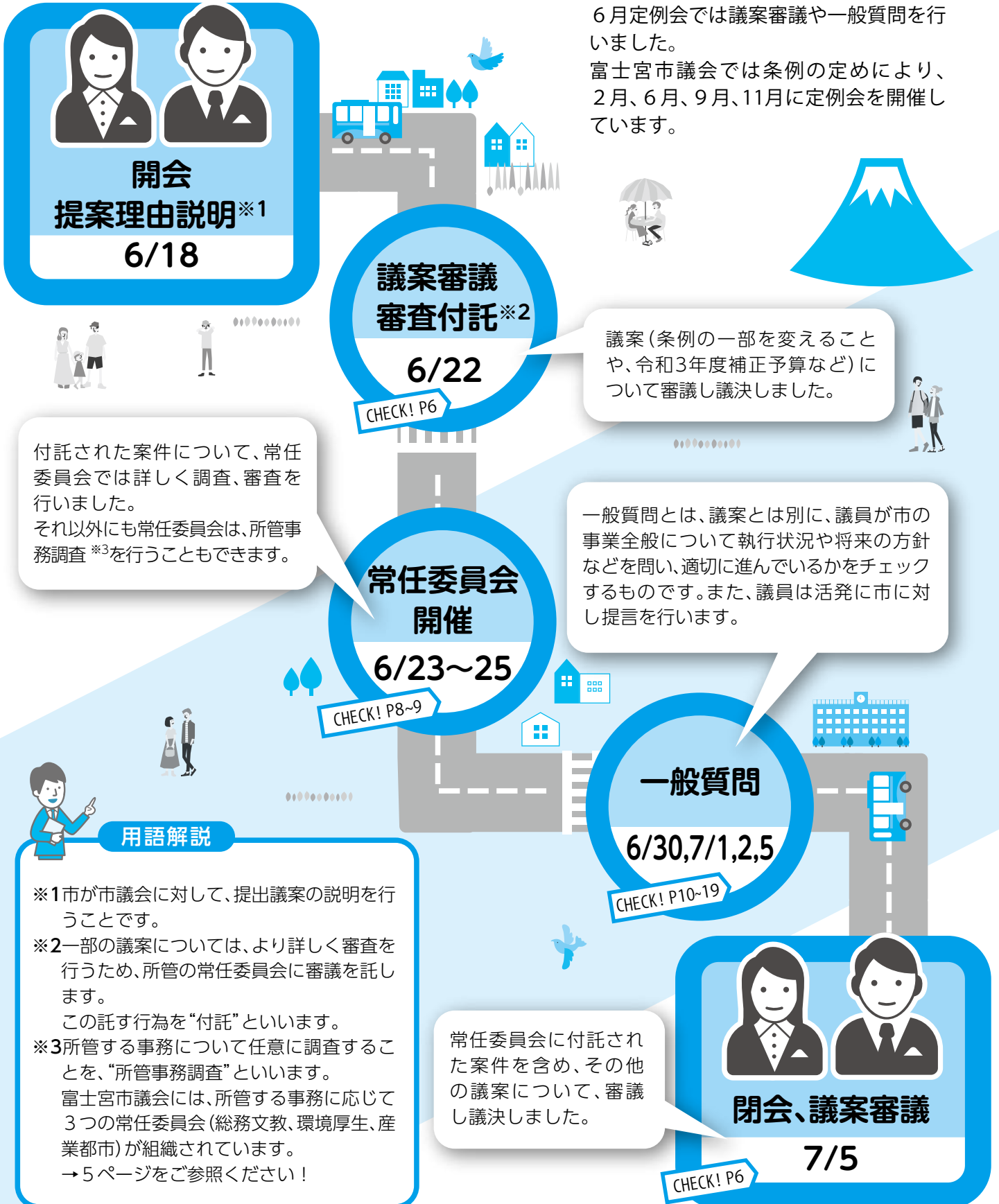
5月18日に、5月臨時会※を開催しました。5月臨時会では、正副議長選挙や委員の選任を行ったほか、条例の改正や補正予算の報告を行いました。

※臨時会とは、必要に応じて臨時に開かれる議会のことです。

6月定例会

6月定例会では議案審議や一般質問を行いました。

富士宮市議会では条例の定めにより、2月、6月、9月、11月に定例会を開催しています。



付託された案件について、常任委員会では詳しく調査、審査を行いました。それ以外にも常任委員会は、所管事務調査※3を行うこともできます。

議案(条例の一部を変えることや、令和3年度補正予算など)について審議し議決しました。

一般質問とは、議案とは別に、議員が市の事業全般について執行状況や将来の方針などを問い、適切に進んでいるかをチェックするものです。また、議員は活発に市に対し提言を行います。

常任委員会に付託された案件を含め、その他の議案について、審議し議決しました。

用語解説

※1市が市議会に対して、提出議案の説明を行うことです。

※2一部の議案については、より詳しく審査を行うため、所管の常任委員会に審議を託します。この託す行為を“付託”といいます。

※3所管する事務について任意に調査することを、“所管事務調査”といいます。富士宮市議会には、所管する事務に応じて3つの常任委員会(総務文教、環境厚生、産業都市)が組織されています。→5ページをご参照ください!

議案番号	件名	議決結果
議選第2号	常任委員の選任について	決 定
議選第3号	議会運営委員の選任について	//
議選第4号	富士宮市議会議長の選挙について	当 選 人 遠 藤 英 明 定
議選第5号	富士宮市議会副議長の選挙について	当 選 人 小 松 快 造 定
報第5号	富士宮市税条例等の一部を改正する条例の専決処分報告について	承 認
報第6号	富士宮市都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	//
報第7号	令和2年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)の専決処分報告について	//
報第8号	令和3年度富士宮市一般会計補正予算(第1号)の専決処分報告について	//

※議選＝議会で行う選挙や人事案件、報＝市からの報告の略。(2月定例会からの通し番号)
 ※詳しくは市議会事務局(電話 22 - 1191)までお問い合わせください。

キーワードは、地域循環共生圏※ ～子・孫の世代に残す、富士宮～



第57代富士宮市議会議長
遠藤 英明



第62代富士宮市議会副議長
小松 快造

富士宮市の課題とその対策を教えてください

- 議長 少子高齢化問題や北部地域の家畜ふん尿の問題があります。
 少子高齢化については、企業誘致推進と子育て支援の充実が必要と考えます。家畜ふん尿問題は地下水汚染も関連します。国や県の協力を得ていければと思います。
- 副議長 特にふん尿については、再生可能エネルギーとして捉え市の最優先課題として取り組んでいただきたいと考えています。そのためにも、**地域循環共生圏**の考えを市民皆様に知っていただき、後世に誇れる富士宮市を残していきたいと思っています。
 そのためには、市民皆様の協力と参画が必要であると考えています。

課題解決のための議会の役割とは

- 副議長 課題を洗い出し深く議論することが大切です。
- 議長 議論したものを条例や政策提言等にして、市の具体的事業に繋げていただければと考えています。

市民皆様へのメッセージ

- 議長 コロナ禍により皆様と直接会う機会が減り、顔の見えにくい議会になっていますが、**少しでも議会を身近に感じてもらえる取組をしていきたいと思っています。**
- 副議長 特に若い人たちに、市のこと、議会のことに関心を持っていただきたいです。**市民皆様の参画により富士宮を作り上げることが、課題解決に繋がると考えています。**



※各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら、自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方。

POINT

委員会とは？

- 議会運営委員会とは、主に議会の運営に関することを協議する組織です。
 - 常任委員会とは、議案などを本会議以外の場で、より詳しく審査・調査するための組織です。富士宮市議会には、担当する案件により、総務文教、環境厚生、産業都市の3つの常任委員会が組織されています。
- 議会運営委員会と常任委員会は全て議員のみで構成されています。

議会運営委員会

- ◎委員長 若林志津子（前列左）
- 副委員長 稲葉晃司（前列右）
- 委員 後列左から、
佐野寿夫、望月則男、細沢 覚、松永孝男、
村瀬 旬、深澤竜介

【所管する事項】

議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項



総務文教委員会（常任委員会）

- ◎委員長 齋藤和文（前列左）
- 副委員長 望月則男（前列右）
- 委員 後列左から、
細沢 覚、鈴木 弘、深澤竜介、佐野和彦

【所管する事項】

総務部、企画部、財政部、市民部、会計管理局、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員の所管に関する事項



環境厚生委員会（常任委員会）

- ◎委員長 渡辺佳正（前列左）
- 副委員長 近藤千鶴（前列右）
- 委員 後列左から、
稲葉晃司、小松快造、村瀬 旬、諏訪部孝敏

【所管する事項】

環境部、保健福祉部、福祉事務所、富士宮市立病院の所管に関する事項



産業都市委員会（常任委員会）

- ◎委員長 佐野 孜（前列左）
- 副委員長 辻村岳瑠（前列右）
- 委員 後列左から、
佐野寿夫、植松健一、若林志津子、松永孝男、
中村憲一（7/5辞職）

【所管する事項】

産業振興部、都市整備部、水道部、危機管理局、消防本部、農業委員会の所管に関する事項



6月定例会 議案審議

議案番号	件名	議決結果
議請第1号	「富士川下流域における河川環境改善を求める意見書」の採択に関する請願	採択賛成多数
議選第6号	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	決定
議決第5号	富士宮市議会基本条例の一部を改正する条例制定について	原案可決全会一致
議決第6号	富士宮市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	//
議決第7号	富士川下流域における河川環境改善を求める意見書の提出について	原案可決賛成多数
報第9号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報告済
報第10号	令和2年度富士宮市一般会計繰越明許費繰越計算書について	//
報第11号	令和2年度富士宮市水道事業会計予算繰越計算書について	//
報第12号	令和2年度富士宮市下水道事業会計予算繰越計算書について	//
議第38号	富士宮市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決全会一致
議第39号	富士宮市税条例の一部を改正する条例制定について	//
議第40号	(仮称)富士宮市立児童館建設工事請負契約の締結について	//
議第41号	富士宮市民体育館長寿命化工事(建築工事)請負契約の変更について	//
議第42号	財産の取得について	//
議第43号	令和3年度富士宮市一般会計補正予算(第2号)	//
議第44号	令和3年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	//
議第45号	令和3年度富士宮市一般会計補正予算(第3号)	//
諮第3号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同意全会一致
選第2号	教育長任命に関し同意を求めることについて	同意賛成多数

※議請＝請願、議選＝議会で行う選挙や人事案件、議決＝議会からの議案、報＝市からの報告、議＝条例・予算・契約などの議案、諮＝人事案件のうち人権擁護委員候補者、選＝人権擁護委員候補者以外の人事案件 の略。(2月定例会からの通し番号)
 ※詳しくは市議会事務局(電話 22 - 1191)までお問い合わせください。

【賛否が分かれた議案】

○は賛成。×は反対。

議案・結果	議員名 (議席番号順)	渡辺	若林	近藤	辻村	細沢	望月	齋藤	佐野	植松	中村	深澤	佐野	佐野	遠藤	稲葉	諏訪部	鈴木	村瀬	小松	松永
		佳正	志津子	千鶴	岳瑠	覚	則男	和文	寿夫	健一	憲一	竜介	孜	和彦	英明	晃司	孝敏	弘	旬	快造	孝男
議請第1号 ※1	「富士川下流域における河川環境改善を求める意見書」の採択に関する請願	○	○	○	○	○	病欠	×	×	×	○	○	○	○	※2	○	○	○	○	○	○
議決第7号 ※1	富士川下流域における河川環境改善を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	病欠	×	×	×	○	○	○	○	※2	○	○	○	○	○	○
選第2号 ※1	教育長任命に関し同意を求めることについて	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2	○	○	○	○	○	○

※1 議請第1号及び議決7号は7月5日に議決。選第2号は6月18日に議決。
 ※2 議長は表決に加わりません。

議請第1号 「富士川下流域における河川環境改善を求める意見書」の採択に関する請願
議決第7号 富士川下流域における河川環境改善を求める意見書の提出について



富士宮市議会は、両議案について審議した結果、賛成多数により採択及び可決し、国及び県に意見書を提出しました。しかし、賛成意見、反対意見と議会内でも意見が分かれる結果となったため、以下のとおり、双方の考えを紹介します。

賛成討論 (近藤千鶴議員、辻村岳瑠議員、深澤竜介議員)

近藤千鶴議員

富士川の中下流域の議会で、富士川に対しての請願を出すのは初めての事です。この請願は、川勝静岡県知事、小泉環境大臣、全国の河川関係者などが大変注目しています。

今こそ、富士川を取り巻く近隣の地域の方々の声を国や県に届けなければいけません。

辻村岳瑠議員

当市の最大の資源である「水」に対する請願であり、自然に生かされているという、極めて重要なものであると考えます。また、富士川と社会との関係性を再構築するために必要な請願であるとも考えます。

深澤竜介議員

自然は壊すのは一瞬ですが、壊されたものを元に戻すのは何十年もかかります。我々に時間的猶予は残されていません。議員には未来への責任があります。

かつての富士川を取り戻すべく、一刻も早く富士宮市議会から声をあげ、富士川を生きた川に戻さなくてはなりません。

反対討論 (佐野寿夫議員)

本請願の中で、富士川の綺麗な水を求めている事には賛同致しますが、現段階では山梨県と静岡県で富士川の水の調査を令和元年5月から7月までに月3回、合計9回実施され、水の汚れの少ない川と結果が出ました。令和2年2月3日に今後の取組として、山梨県は濁りの状況のモニタリング実施と発生要因の把握に努める、静岡県は蒲原放水口付近の濁りのモニタリング実施と富士川水系等の濁りが、駿河湾に与える影響について調査・研究を進めていくとしています。更に令和3年5月31日に川勝静岡県知事が、どのような化学物質が、どの程度含まれているか山梨県と連携し調査すると発表しています。

まずは、今後の県の調査結果を見極めるとともに、公式な調査機関からの報告を受けていきたいと考えます。「調査無くして発言無し」の政治理念のもと、勉強不足のため継続して調査を望みます。

最後に、水利権と民間業者の調査のところは非常にデリケートなことなので慎重に進めていきたいと考えます。

議会運営委員会

【若林 志津子 委員長コメント】

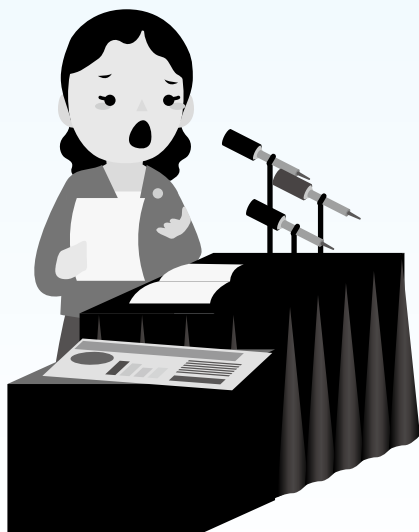
6月定例会開会日に、令和2年度に検討した、富士宮市議会基本条例と会議規則の一部改正が可決されました。

条例の改正は、一般質問を深めるため当局の反問に「対案の提示を求める」を加えるもので、規則の改正は、議員が欠席の時は「事故」としていましたが、「公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助」とし、想定できる全てを明記しました。

また、産前産後の日数を8週間と具体的に決めました。若い女性が議員となっても安心して出産を迎えられます。

今後は市民の皆さんにより分かりやすく、身近に感じていただける議会とするよう取り組んでまいります。

ワクチン接種が進んでいますが、感染症の市内発生状況次第により感染対策を取り、9月定例会を無事に開催できることを望みます。



総務文教委員会

政策課題

●公立中学校制服選択制の導入について

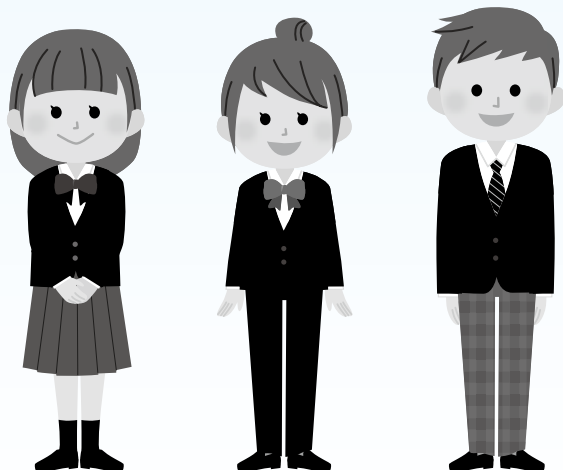
【齋藤 和文 委員長コメント】

政策課題について、各会派より多くの課題案を提出してもらい検討した結果、2つの会派より提出された「公立中学校制服選択制の導入について」に決定しました。

理由としては、防寒対策や気候・機能性に合わせた選択が可能となり、さらに性別に関係なく自分の意志で選択が可能になること、トランスジェンダー等への配慮も可能となることなどがあげられます。

全国的には制服の選択制の議論は広がりを見せており、県内の公立中学校や富士宮市内の私立中学校においても導入が始まっております。今後委員会の中でこの議論を深め、全公立中学校での導入を目指してまいります。

また、「教育のデジタル化」、「パートナーシップ制度の導入」など、他の課題案については所管事務調査として調査を行う予定です。



環境厚生委員会

政策課題

- ごみ処理に係る富士宮市一般廃棄物処理基本計画について

【渡辺 佳正 委員長コメント】

富士宮市は令和3年度、一般廃棄物処理基本計画を策定します。

一般廃棄物には、家庭と事業所から出るプラスチックごみや生ごみが含まれます。地球温暖化対策として2050年までの二酸化炭素排出実質ゼロを掲げる本市にとって、プラスチックごみと生ごみの分別回収・資源循環と排出ごみ削減は重要な課題です。令和4年度から10年間の一般廃棄物処理基本計画は、カーボンゼロへの具体的な行動取組を大きく左右する計画です。

当委員会では、ごみ処理の現状、分別回収・資源循環による二酸化炭素排出抑制効果及び清掃センター焼却炉と最終処分場の延命効果、分別回収推進に必要な市民への啓発活動を研究し、議会の考えを一般廃棄物処理基本計画に反映させていきます。



産業都市委員会

政策課題

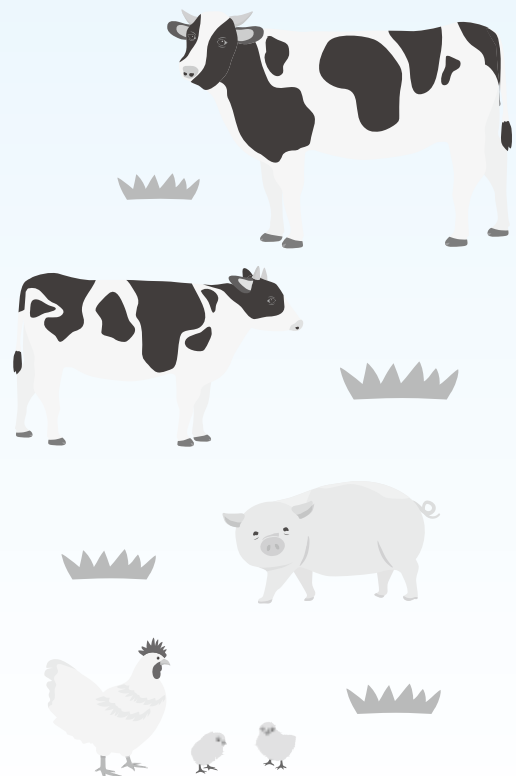
- ふじのみやの一次産業イノベーションについて

【佐野 孜 委員長コメント】

各会派から課題案を提出してもらった結果、政策課題を「ふじのみやの一次産業イノベーションについて」と決定しました。

また、一次産業の中でも畜産を主軸として調査研究していくこととし、朝霧高原をはじめとした、市内畜産をより活性化させるための課題を洗い出し、それを解決するために、産業の壁を越えて必要な取組を研究してまいります。

なお、提出された他の課題案については、今後所管事務調査として調査を行う予定です。



6月定例会の一般質問

18人の議員が1人1時間の持ち時間の中で、市の行財政全般についての執行状況や将来への考え方等を問い、適切に進んでいるかをチェックしました。また多くの議員は、市に対して施策の提言も行いました。



望月 則男 →P11

- ・災害時の水源や避難場所

齋藤 和文 →P11

- ・富士山5合目レストハウスの今後
- ・園児・児童生徒の交通安全
- ・「ゆるキャン△」の活用

細沢 寛 →P12

- ・コロナ禍の今後の小中学校の問題全般
- ・スペイン空手ナショナルチーム
- ・スポーツ施設
- ・北高・5区広域避難所運営委員会避難訓練
- ・市営住宅入所者募集について

近藤 千鶴 →P12

- ・上長貫の導水管の影響と工場の悪臭、煙、粉塵など
- ・性犯罪・性暴力と被害者支援

鈴木 弘 →P13

- ・再生可能エネルギー推進(新ストーブ)
- ・中山間地域の課題

諏訪部孝敏 →P13

- ・新型コロナウイルス感染症の対応と対策
- ・消防団員確保
- ・富士山噴火対策

辻村 岳瑠 →P14

- ・地域福祉の重層的支援体制整備
- ・自然災害と森林整備
- ・スペインとの交流

若林志津子 →P14

- ・コロナ収束後の教育
- ・少人数学級の具体化
- ・生きづらさを感じている人への支援

深澤 竜介 →P15

- ・中部横断道、新々富士川橋開通による今後の富士宮市
- ・市の人事政策

松永 孝男 →P15

- ・新型コロナウイルスワクチン接種
- ・富士川の清流を取り戻す

渡辺 佳正 →P16

- ・在宅医療・介護連携の現状と計画
- ・ごみ収集運搬事業者委託契約とプラスチックごみ、生ごみ分別収集

植松 健一 →P16

- ・ペットマナー
- ・遊休農地対策

村瀬 旬 →P17

- ・企業版ふるさと納税の計画
- ・独居高齢者の終活相談事業の立ち上げとエンディングノート

佐野 和彦 →P17

- ・感染症対策の検証と改善
- ・終活と葬儀費用

佐野 孜 →P18

- ・北部地域自然環境の保全と小水力発電
- ・耕作放棄地と農業への就労促進
- ・教育委員会の新たな教育方針

佐野 寿夫 →P18

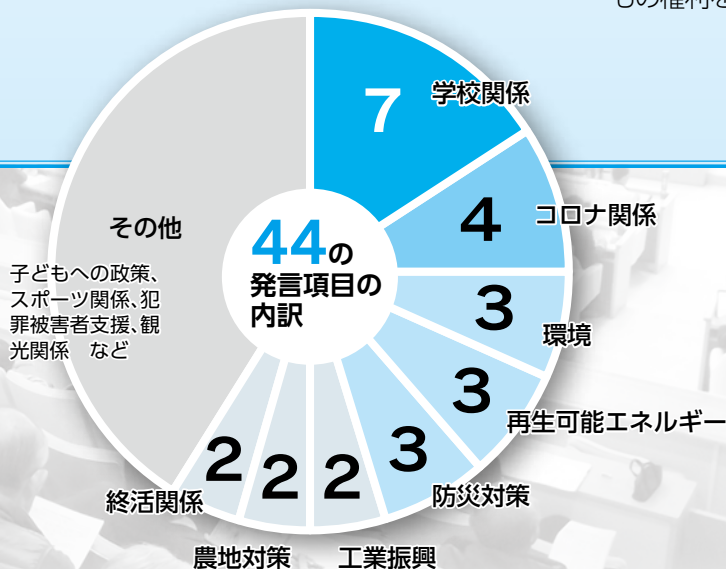
- ・中学校制服の見直し
- ・新型コロナウイルスワクチン接種
- ・投票に関する配慮

稲葉 晃司 →P19

- ・市工業振興ビジョン
- ・富士市西部浄化センター消化ガス発電事業についての当市見解
- ・市小中学校の支援員の配置状況

中村 憲一 →P19

- ・子ども関連政策の一元化と子どもの権利を保護する条例





※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年6月定例会を選択すると視聴できます。

6月定例会時に在籍していた議員の一般質問を掲載しています。



もちづき のりお
望月 則男
(富岳会)

災害時の水源や避難場所などの電源について

問 災害時に水源や避難所等の発電機の燃料の手配はできているのか伺う。

部長 市内のガソリンスタンドに個別に注文するが、災害時には、「災害時等における燃料の供給協力に関する協定」に基づき、静岡県石油業協同組合富士宮支部への応援協力を求めることになる。

意見 ガソリンスタンドも高齢化、後継者不足、人員不足ということで、何か起きたときに配達ができる、できないということを事前に知っておけるかどうかということも大きなポイントかと思う。通常取引として、備蓄用の燃料も常時使用してもらっているガソリンスタンドであれば、困っているときに、頑張ろうというような意識になると思う。ただ、それが困った

ときだけお願いしますということだと、話は変わってくると感じる。たった一つのエネルギー源だけではなく、複合的なガスなど様々なエネルギーをツールとして持っておくということが重要なポイントではないかと強く感じる。

問 ゼロカーボンシティを宣言したことにより、非常用の発電設備等のエネルギーを軽油や重油等以外とする選択肢はあるか。

市長 ゼロカーボンシティを宣言してエネルギー革命を担っていくと思う。市の公共施設のエネルギー源の問題は、社会の状況、技術革新と一緒に並行して取り組んでいかなければならない重大な問題だと認識している。

問 業者の数が大幅に減っていく中で、この8年間、協定を改定する機会や見直すというような動きはあったか伺う。

部長 見直す機会はなかったが、今後は状況に応じて内容、体制を、事業者、それから石油、ガソリンスタンドやエネルギー供給業者と連携して協力体制を築いていきたい。



さいとう かずふみ
齋藤 和文
(公明会)

富士山5合目レストハウスの今後について

問 5合目レストハウスの現状と県への要望について。

部長 令和3年3月に思いもよらない火災事故に見舞われ、その機能が消失してしまった。現在は避難場所や休憩場所がないため、仮設トイレを4～11月まで5基、7～9月までさらに5基、設置予定である。レストハウスについては、火災以前より老朽化とビジター機能がないという理由で、平成29年に県知事に、県において施設整備の要望を行った経緯があり、検討に入っていた矢先の火災事故となった。早急な施設整備とレストハウスが使用できない中での来訪者等の一層の安全確保、施設の建設費や維持運営費の確保について4月に県へ要望した。

問 施設整備のためにクラウドファンディン

グ*を利用し資金を集めることについて。

部長 財源を補足する財源的な面、多くの人に事業内容を周知する、関心を持ってもらう点では非常に有効な手段であると考えている。

※クラウドファンディングとは、多くの方がネットを通じて資金提供し、プロジェクトのために資金調達を行うこと。

「ゆるキャン△」の当市での活用について

問 「ゆるキャン△」が当市に及ぼした影響について。

部長 「ゆるキャン△」で出てきたジェラートの売り上げがコロナ禍以前の2倍に、モデル地では焼きそば店の行列、アニメに登場した西富士宮駅、浅間大社周辺等、縁のある土地を実際に訪れる「聖地巡礼」を行うファンが増加している。経済効果は大きいと実感している。今後は民間事業者等と連携しながら、広がりや活性化に努めていきたいと考えている。

問 「聖地巡礼」の方向性について。

部長 企画や広報の職員とともに研究し、民間の力を活用しながら勉強していく。



ほそざわ さとる
細沢 寛
(育成)

小中学校の児童生徒、教職員の環境について

問 夏季の体育授業について。

教育長 熱中症やコロナ対策を取りながら教育活動を進めてきた。体育的活動に関する指針を、富士宮市小中学校保健体育研究委員会が示した。

問 肌着を着ることを禁止している小学校体育授業があると聞く。教育委員会の考えを伺う。

教育長 肌着の着用を禁止している小学校は市内にはない。

問 小中学生におけるヤングケアラーの現状と今後の対処方法について。

教育長 表面化しにくい特徴がある。日々の変化に気づきやすい状況にある学校の教職員による状況把握に努めていく。

問 当局が主体になり、公共施設以外において

防犯カメラを設置する考えについて。

部長 犯罪を未然に防ぐ抑止力として効果的だと認識している。今後も自治会が主体となって設置する、補助制度を継続していきたい。

問 今後予想される、突発的な豪雨に対して、通学路の危険箇所をどの程度把握しているのか。

教育長 ふだんほとんど水のない側溝に、突然の大雨により、児童が流された経験がある。児童は助かったが、側溝の増水に対しての対応の重要性を認識している。念には念を入れ、もう一度、各学校を確認していきたい。

スペイン空手ナショナルチームの合宿について

問 ホストタウンとしての事前合宿の準備状況について。

部長 国の指針に従い、市で作成したマニュアルに沿って準備してきた。ナショナルチームと直接関わる人に対しては、ワクチン接種のキャンセルの中から、ワクチン接種も実施している。



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(令和)

上長貫町内会の日軽金導水管の影響とリサイクル工場の悪臭、煙、粉じんについて

問 導水管からの水でコメ作りをしているが、人体への影響を心配する。上長貫町内会の健康被害調査や市の独自の調査は考えているか。

部長 静岡県や山梨県が調査するといっているので動向を注視しながらやっていきたい。

意見 沿線の住民が不安とか訴えてきたのに企業とか河川管理者が耳を貸さずにいたから富士川はこんな事態になってしまった。できることからはじめ、市の本気度をみせてほしい。

問 導水管の位置をハザードマップにいれられないか。明確な場所を知りたい。

部長 ハザードマップに入れることはできない。明確な場所は日軽金で対応してくれる。

問 リサイクル工場と住民との協定書の作成に

市はどのように関わっていくのか。

部長 相談があった場合は適切に助言する。

意見 協定書作成には客観的視点が必要。相談があった場合は、最後まで寄り添い納得のいく協定書を作ってほしい。リサイクル工場が住民に真摯に向き合う姿勢は見習うべきもの。

富士宮市の性犯罪・性暴力と被害者支援条例

問 このような事件があると対策委員会が立ち上がった方がいいと思うがその予定はあるか。

部長 個人の資質によるところが大きい。コンプライアンス研修をしていくので予定はない。

問 令和2年11月定例会で行った性教育の一般質問以降、性教育に取り組んできたか。

教育長 学習指導要領に沿って指導してきた。

問 犯罪被害者等支援条例の進捗状況と見解。

部長 近隣市町村の動向を注視検討していく。

意見 警察のたつての願い。この条例は犯罪にあった人のものだけでなく明日私たちが被害に遭うかもしれないすべての市民のための条例。一刻も早く条例を立ち上げてほしい。



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年6月定例会を選択すると視聴できます。



すずき ひろむ
鈴木 弘
(至誠)

再生可能エネルギーの有効利用の推進～薪ストーブの勧め～

問 木質バイオマス発電はハードルが高いため、薪ストーブでの木質バイオマス利用を勧めたいかがか。

部長 薪ストーブは間伐材の有効活用や化石燃料を使用しないことから、二酸化炭素の排出削減などの効果がある。また森林資源の有効活用を通して地域活性化にもつなげられるなど利点が多くあるが、あくまで暖房設備という位置づけのため、再生可能エネルギーの利用促進という観点からは、市としては、暖を取るだけでなく、給湯や空調、産業用にも利用可能な木質バイオマスボイラーを林業振興や木材調達に関わる関係機関と連携を図りながら推進していきたい。

中山間地の課題

問 川の堤防の石積みに土砂が堆積しているため、猪や鹿が石積みを歩くことができ、川を超え、農地に侵入し、被害をもたらしている。この土砂を除去できないか伺う。

部長 質問箇所を現地調査したところ、護岸のり面に土砂の堆積や草等が繁茂している状況が確認できたため、計画断面内に堆積している土砂等については今後管理者である県へ河川防災上支障となるかを含め、土砂等の撤去をお願いしていく。



▲空気の調整だけで燃焼する薪ストーブの炎を見ていると心が癒されます



すわべ たかとし
諏訪部 孝敏
(育成)

新型コロナウイルス感染症に伴う対応と対策について (パート4)

問 今後予想される問題点について、今までキャンセルが出て、ワクチンが無駄になったというような例はあるか伺う。

部長 介護施設の従事者、民生委員や寄り合い処など高齢者に多く接するような方々、それから市の職員の中でワクチン接種に従事する職員などについて名簿を作成している。キャンセルが出た場合には、遅れてくる方もいるので、その日の最後にならないと、対応がなかなか難しいということで、その際に連絡を取って、職員が非常に苦勞してあちこち電話をかけ、何とか今のところワクチンを無駄にしたという事例はない。

消防団員確保について

問 機能別団員制度の導入について。

部長 当市においては、現在、機能別団員制度は導入していないが、静岡県内では令和3年4月現在、35消防団中20団が導入している。また、富士市消防団は機能別団員制度を導入しており、平成30年度から広報啓発団員、平成31年度から大規模災害団員及び災害団員の3つの機能別を採用している。そのうち、広報啓発団員及び大規模災害団員は、条例定数に反映しておらず、災害団員は条例定数に反映している。当市でも、元消防職団員として培った豊富な知識、技能等を生かして、地域防災のより一層の充実を図るため、機能別団員制度の導入に向け、現在、団本部と協議検討を行っている。

富士山噴火対策について

問 3月に富士宮市防災マップ改訂版が配布されたが、市民への周知の現状について伺う。

部長 7月末に静岡県と富士宮市の共催で、富士山ハザードマップ説明会を予定している。



つじむら たける
辻村 岳瑠
(育成)

地域福祉の最前線事業、重層的支援体制整備事業を地域包括ケアシステムで行うこと

問 国の進める重層的支援体制事業は、市の地域包括ケアを進展させると考えるが、いかがか。

部長 高齢者ベースで語られていた地域包括ケアシステムを、障がい、生活困窮、児童も含めた広い概念で捉える本市の取組と合致する。

問 地域包括ケアシステムの最前線は地域包括ケアセンターと考える。重層的支援体制の中核は、地域包括ケアセンターと考えてよいか。

部長 現在策定中の地域福祉計画の中で、そういった考えも一つの考え方として捉えている。

意見 重層的支援体制整備事業に取り組む、保健福祉部長の決断は、地域福祉に一隅を照らす。

森林環境贈与税を活用した、道路沿いの予防伐採を市独自で行う提案について

問 道路沿いの予防伐採は、災害時の停電発生リスクや緊急車両の通行確保など多様な効果を得る有効な手段と考えるが、市の考えを伺う。

部長 森林環境贈与税は、温室効果ガス排出削減の達成や災害防止を図るために創設。これにより森林整備を推進し、社会基盤施設管理者の維持管理と連携した作業により、ご指摘の点を副次的効果と捉え、発揮できるよう心掛ける。

意見 他自治体では、すでに森林環境贈与税で予防的伐採を実施。市の総合計画に「市民の生活を守る森林整備」とある。市民の生活に寄り添った森林整備とは、やはり道路沿いの予防伐採。市民の生命・財産を守るものだと思われる。

スペインとの親睦や交流の活用について

問 スペインとの交流を今後どう生かすのか。

部長 今まで育ててきた関係性をより一層醸成させ、その他スポーツ交流へ繋げる。

意見 ふじざくら球技場が芝になった暁には、富士山カップ少年・少女サッカー大会で、スペインと交流ができることを願う。



わかばやし しづこ
若林 志津子
(日本共産党議員団)

コロナ収束後の教育はどう変わっていくのか

問 新型コロナウイルス感染症により小中学校では、今までと違う対応を求められた。コロナ収束後は教員の研修など中止したものを元に戻すのか、戻さないのか伺う。

教育長 市内全体研修、富士山学習発表会、自由研究作品展それらに関わる業務がなくなり、それら業務に当てられていた時間を、授業時間の確保に振り替え、子どもの学力保障に努めた。市内全体研修会は、元に戻す事はなく、今後はパソコンのリモート開催などより良い在り方について検討していく。

少人数学級の取組具体化を

問 30人学級へ向けて県の意向を伺う。令和3年度の市内小中学校学級数を30人学級に当てはめると、小学校32クラス、中学校21クラ

ス増える。年次計画を立て取り組むべきでは。

教育長 県は今後とも少人数学級を推進していく意向。30人学級へも段階的に移行すると考えている。引き続き、県や国に要望していく。

生きづらさを感じている人への支援策

問 18歳未満で家族介護に専念しなくてはならないヤングケアラー※と呼ばれる子どもたちの相談体制の充実を。

部長 家族全体の相談は福祉総合相談課で、課題を整理・分析し、生活保護、介護保険などの制度や地域包括支援センターなどにつなげる体制を整えている。

※
ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、本人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。

 <p>障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。</p>	 <p>家族に代わり、おいしそうな料理を作っている。</p>	 <p>障がいや病気のある子どもの面倒を見たりおしやめたりしている。</p>	 <p>目を離さない家族の留守りや防犯などの気づかいをしている。</p>	 <p>日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。</p>
 <p>障がいを支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。</p>	 <p>アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に寄り添っている。</p>	 <p>がん・難病・精神疾患などの重篤な病気の家族の看護をしている。</p>	 <p>障がいや病気のある家族の服薬の管理や入浴のサポートをしている。</p>	 <p>障がいや病気のある家族の介護や入浴のサポートをしている。</p>

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / Illustration: Tsunemi Shiga



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年6月定例会を選択すると視聴できます。



ふかさわ りゅうすけ
深澤 竜介
(令和)

「富士川ビーナスバレー※1」の提案

問 中部横断自動車道や新々富士川橋の開通で富士宮市の南部の利便性が高まる。資源のない国、日本にとって循環経済は今後進展していく。そこで、このエリアに「静脈産業※2」による「富士川ビーナスバレー」を提案する。

市長 産業廃棄物等を扱うような工業団地は今のところ考えていない。

意見 循環経済の中で今後廃棄物は、廃棄物から資源という存在になると思う。廃棄物だけで作ったスニーカーが爆発的に売れている時代だ。産業廃棄物の産業は、これからはリサイクル産業から違う未来型産業に脱皮するだろう。そんな思いで提案した。

※1静脈は英語で「ビーナス」という。「ビーナスバレー」は深澤の造語。

※2汚れた血液をきれいにして、心臓に戻すのが静脈。リサイクル産業のことを静脈産業と言う。

会計年度任用職員と公務員の定年延長

問 会計年度任用職員制度が始まって1年が経過したが、当初の見込みと違う部分はあるか。

部長 当初の見込みと変わった部分もなく、フルタイムの会計年度任用職員もいない。

問 法律が改正され、公務員の定年の延長が、2033年度には65歳となるが、富士宮市でも同内容で条例改正するのか。

部長 当市においても、国家公務員の定年を基準として条例改正していく。

問 2年に1回、定年を1年延長がなされるため、定年退職者がいない年ができるが、新規採用はどうするのか。

部長 毎年凸凹を作らず、一定数の職員を採用していく。

意見 組織は人材で持っている。職員のモチベーションを上げる人事政策を行っていただきたい。それが市民サービス向上につながる。



まつなが たかお
松永 孝男
(富岳会)

新型コロナウイルスワクチン接種について

問 65歳以上の方の接種予約状況は？

部長 6/29現在、65歳以上の対象者3万8452人の内、3万2534人が予約済み。予約率は84.4%。

問 個別接種の予定は？

部長 個別接種は6月末現在、市内40の医療機関で1週間に2000人から2200人の接種を行っており予約は全て埋まっている。

問 全ての市民の完了予定は？

部長 対象年齢が12歳に引き下げられ、対象者は約8万人になる。目標とする市民の7割の接種は年内の完了を目指している。

富士川の清流を取り戻すために

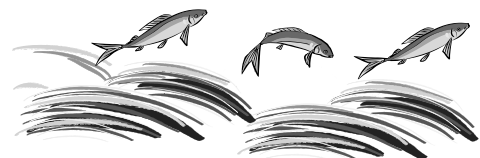
問 市では富士川の現状をどのように捉えているか？

部長 市では、富士川の2箇所、それぞれ年4回の水質調査を行っている。国も別の2箇所で、それぞれ年12回の水質調査行っており、いずれも環境基準に適合しているが、富士川の河川環境については重要な問題と認識。

問 市長の富士川に対する思いを伺う。

市長 富士川の河川環境の問題は誠に遺憾であり、富士川が以前のような清流に戻ることを切に望んでいる。今の時代に生きる我々が富士川を清らかな水の流れる悠久の大河として復活させなければならない。富士市とも連携して国や県を動かすように働きかけていきたい。

意見 市民に富士川の現状を周知し、行政と市民が一丸となって早急に改善に向けての一步を踏み出す必要がある。





わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(日本共産党議員団)

在宅医療の推進について

問 国が在宅看取り率を40%に増やす目標に対して、静岡県の1%増の目標はあまりにも低いのではないかと。

部長 県の数値目標であり、市としての具体的な数値(目標)はない。

問 地域の診療所、市立病院、医師会、介護事業所などが連携した在宅医療のシステムを、市が中心になって作っていく考えはどうか。

病院長 数年後に総合医が増えてくれば、家庭医との連携、在宅医療体制もできてくると思う。



部長 医師、介護保険事業所、薬剤師など多くの専門職が集まって、今後も定期的に協議・検討を進めていく。

要望 当市で実際に訪問診療が進んでいない現実をふまえて話を進めていただきたい。

災害時のごみ収集とプラスチックごみ・生ごみの分別収集について

問 災害時のごみ収集について、地域事業者と具体的な協定を結ぶ必要があるのではないかと。

部長 今後、検討していく。

問 令和4年4月施行のプラスチック資源循環促進法で、プラスチックごみの分別収集能力が事業者選定の重要な要素になると考えるが、いかがか。

部長 収集運搬事業者やリサイクル事業者との連携が不可欠と認識し、策定中の一般廃棄物基本計画にその旨を記載する。

問 燃えるごみの中で4~5割を占めると言われる生ごみについて、水分削減・たい肥化などの新しい技術を、市は検討しているか。

部長 技術革新を研究し、当市にふさわしいものを取り入れていきたい。



うえまつ けんいち
植松 健一
(至誠)

ペットマナーについて

問 飼い犬条例により行っていることは。

部長 当市の飼い犬条例は、飼い犬の適正管理により公衆衛生の向上を図る事を目的に制定されている。飼い主の適正な飼育管理として公共の場所や他人の土地への汚損、つまりふん尿の後始末の徹底、飼育する場所や係留方法について規定している。

問 ペットについての苦情はどのように対応しているか。

部長 苦情対応として、ペットの飼い主宅を訪問し、飼育方法の現状確認の上、犬の場合は飼い犬条例に基づく指導を行っている。猫の場合は飼育に関する法令が存在しないため、飼い主の道義的な責任として、他人に迷惑がかからない飼育を心がけるようお願いしている。

遊休農地対策について

問 令和3年4月1日より農地取得等に関わる面積要件の一部緩和が行なわれたが、その趣旨について。

部長 農地の権利の取得について農地法施行規則を適用し、下限面積を30アールに設定しているため、耕作したいという意向があっても広すぎて耕作できないとして取得を諦める方がいた。農業委員会では、新規就農者等の受入れの促進により農地の有効利用を図る観点から、面積要件を一部緩和し、一定要件の下での取得の下限面積を1アールに設定した。

問 面積要件の緩和によりハードルは下がったが、今後新規就農促進のための施策はあるか。

市長 農家でない人が農地を取得できるように全国でも珍しい制度を作ったが、要件に該当する農地が少ないこともあり、今後いろいろ検討して改善していく必要があると思っている。あくまでまだ実験的な段階であり、今後もっといい形で展開していけるようにしていきたい。



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年6月定例会を選択すると視聴できます。



むら せ
村瀬 ひとし
(至誠)

企業版ふるさと納税について、実行計画を立て完遂することについて

問 令和2年11月定例会での一般質問に対し、市長は本制度を積極的に活用し、戦略的に対応すると答弁されているが、その後について伺う。

部長 令和3年2月に開催された静岡県主催のマッチング会に参加し、参加企業に対して本市が提案したプロジェクトへの周知と支援を呼びかけた。また、4月からは、企業版ふるさと納税に特化し、全国の企業に呼びかけを行っており、先月は熊本県の企業から寄附をいただくこととなった。今後もこの取組を積極的にPRし、御寄附をいただけるよう働きかけていく。

問 大きな金額を協力いただけるよう、市長からの対象企業への働きかけを切望するが。

市長 先日、富士宮市在住で他市にある優良企

業の代表をお願いをしたところ、企業版ふるさと納税の了承をいただいたところである。市内には大手8社があり、これらの企業の方々に税制優遇措置の実態をよく説明しトップセールスとして私も積極的に頑張りたいと思う。

身寄りのない独居高齢者の最期の相談事業の立ち上げとエンディングノートについて

問 エンディングサポート事業を立ち上げる考えはあるかについて伺う。

部長 他自治体においてはエンディングサポート事業として、葬儀会社と生前契約を結ばれた個人契約書の保管を行っているが、現在当市にこの事業を行ってほしいとの要望はなく、必要都度地域包括支援センターで相談を受けている。

市長 近い将来、市として、この事業を全面的に展開していかねばならないときが来るのではないかと思われる。時代に乗り遅れないというか、時代の先駆けとなるよう、研究し、お年寄りが安心して老後を過ごせるよう、そのようなまちづくりをして行きたいと思う。



さ の か ず ひ こ
佐野 和彦
(富岳会)

感染症対策の検証と改善を考える

問 感染症対策の検証について。

部長 政府が示す統一的指針である新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針がある。これは、感染症対策分科会等で対策が審議され、随時更新されている。そのため、検証や改善については、本市独自で行うものではなく、この対処方針の変更に注視し周知する。

問 新型コロナワクチン接種で副反応が出たときの市立病院の受入れ態勢について。

部長 ワクチン接種後15～30分は経過観察し、症状が起こった場合は、医師が確認し薬を投与し、悪化したときはアドレナリン注射等の措置を行う。また、集団接種会場で緊急搬送が必要な時は、医師から一報を受け搬送し適切に対応。

問 副反応が出た場合の救急搬送について。

部長 ワクチン接種後、救急要請に至った発症者は、速やかに緊急医療機関に搬送する体制を確保するため、関係機関と連携していく。

意見 副反応が多い若い世代に、メリットとデメリットをしっかりと伝えてほしい。

終活と葬儀費用を考える

問 国民健康保険被保険者が亡くなった際、葬祭費支払いが認められないケースはあるか。

部長 支給対象は、葬祭を行った方に対して葬儀費用を補助するもの。葬儀を行わず火葬のみの直葬は対象外となる。

問 病院で亡くなった場合、民間の霊柩車を頼むと高額になるが市ができることはないか。

部長 事業者には、ご遺族から費用の相談があったとき、市の霊柩車も選択肢として提案できるように依頼し、選択の幅を広げられるよう周知していきたい。また、葬儀の形態が多様化する中必要な場合は市の霊柩車を利用してほしい。

意見 市の古い霊柩車について、市民が一番最後に乗る車なので、交換を希望する。



さの あつし
佐野 孜
(富岳会)

日本一水流落差のある小水力発電の工夫

問 用水路における個人用水力発電の方法。

部長 氾濫等安全性を優先し、河川管理者との協議の上、新たな水路に発電機を設置する。原則、直接河川や水路には設置できない。

市長 小水力日本一のまちとして、小河川、農業用水路に発電機を設置できればと考える。法的な問題点を今後検討していく。

問 小中学生自由研究での発電システム募集。

教育長 自由研究としても、エネルギー環境を考えていく上でも意義のある研究になる。

要望 昔、水車小屋があった場所への設置や、補助が可能になればと思う。

耕作放棄地の対策と農業への就労促進の方法

問 耕作放棄地増加傾向の現状とその要因。

部長 農地の形状、鳥獣被害、生産物販路、後

継者不足、農業従事者の不足等が考えられる。

問 農業生産力の向上について。

部長 農業新3K、「感動」「カッコいい」「稼げる」がある。生産力と品質の向上を目指したい。

教育委員会の理念に基づく新たな教育方針

問 教育委員会の学校訪問の観点について。

教育長 魅力ある学校づくりの推進支援、確かな学力が育つ授業、教職員の資質、能力、意欲と学校組織活性化、安全安心な教育環境づくり。

問 教育委員会の研修について。

教育長 全ての教科に責任者、学校指導員、研究員を置き、公開授業実施。

問 不登校児童生徒対策について。

教育長 不登校児童生徒は増加傾向、青少年相談センターの適応指導教室で支援指導。

問 部活動とスポーツ少年団活動について。

教育長 部活動は市教育委員会部活動ガイドラインに沿って地域人材、保護者、部活動顧問で活動。夜間や休日に活動するスポーツ少年団はスポーツ庁の働き方改革を踏まえて活動する。



さの としお
佐野 寿夫
(公明会)

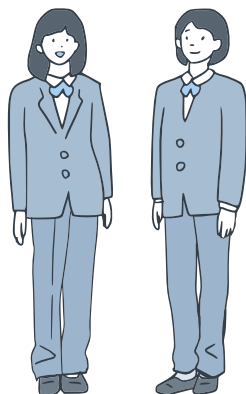
中学校での制服の見直しについて

問 女子用スラックスの導入を検討している中学校と進捗状況について伺う。

教育長 市内公立中学校6校において検討を進めていると報告を受けている。教師主導ではなく、生徒からの要望を大切に作る形で進める。

問 性の多様性をほかの人たちに知られたい生徒への対応について。

教育長 子どもたち自身から防寒や動きやすさを重視した制服としての要望があつてこそ、多様性に配慮した制服の選択制導入が実現できるものと考える。



新型コロナウイルスワクチン接種の取組について

問 障がい者や在宅の医療的ケア児者へのきめ細かな配慮はどうか。

部長 在宅で生活している方は、かかりつけ医に相談の上、自宅で接種いただくことを想定している。かかりつけ医での接種が困難な方には、バリアフリー対策のある施設で、日程調整の上、実施する方向で計画を進めている。

問 須藤市長の取組への思いを伺う。

市長 高齢者接種については接種完了までの見通しがついた。今後は64歳以下の接種を進めていく。同報無線で195回の新型コロナ対策について市民に注意を呼びかけている。引き続き全力で取り組んでいく。

選挙支援カードを提案するかどうか

問 導入する考えはあるか。

部長 選挙人に寄り添った対応を行っている。現状においても選挙支援カードの対応と同様の支援ができていいるものと考える。



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和3年6月定例会を選択すると視聴できます。



いなば こうじ
稲葉 晃司
(蒼天)

富士宮市の小中学校における支援員の配置について伺う

問 市内の小中学校の支援員の配置状況は。

教育長 平成29年度に定めた配置基準にのっとり、市独自に支援員を配置している。令和3年度、支援員と名のつく職種の会計年度任用職員を66人雇用している。また、支援員のみならず学校生活介助員、医療ケア介助員、特別支援教育相談員、外国人英語指導員も雇用し、児童生徒が毎日より良い生活を送れるようサポートしている。

問 教育長の感覚の中で、現場サイドのニーズと現状の支援員の配置状況の開きを感じているのか。

教育長 その時は対象になっていないが、対象のお子さんが入って特別支援教育が必要になること、対象のお子さんが転校すること等があるため、必ずしも予算要求の段階とは違うことがある。一度配置したのに、その学校から取り出して他の学校に移すということは制度上できない。そのため学校との要望が少しずつれるということはある。県の方は県全体で考えるのでかなり余裕を持って支援員の配置を考えている。途中でそのようになった場合に対応できるよう、ストックみたいな形で支援員の数を確保しているので、そのような場合には県に市から事情を話し配置していただけるよう図っている。ただし、他市でも同じ状況があれば優先順位の高い方に配置される。また、支援員の方が家庭の事情で辞められるケースも毎年何件かあり、しばらく支援員が配置できないこともある。そのような場合、学校も教育委員会も力を合わせて探している現状にある。



なかむら けんいち
中村 憲一※
(令和)

※7月5日に辞職

こども庁構想に見る子ども関連政策の一元化と子どもの権利を保護する条例について

問 市長はこども庁構想の意義をどのように考えるか。総合計画後期基本計画への反映は。

市長 こども庁構想は、私が提唱する、生んでよし育てよしの理念にも通ずるものがある。前期計画にも各分野の施策の中に子ども関連施策が盛り込まれているので、既に反映している。

問 子どもの命を守るための問題、環境改善の問題等は、適切に解決、予防されているか。

部長 子どもに関連する政策は多岐にわたるため、市の中では主に保健福祉部と教育部が所管。双方を横断する課題については、関係機関を含めた定例会議や、情報交換や調整を行い、各部署との情報共有や連携を取ることで課題の解決、予防ができていると認識している。

問 子ども関連政策の一元化の観点から、こども未来部の設置、教育部門と福祉部門のジョブローテーションが必要と考えるがいかがか。

部長 子ども未来課において、既に一元化が進んでいる部分がある。1つの課で所管している内容が多岐にわたることを考えると、現状の組織体系のままでよいのかとの議論も出てくる。庁内の組織のバランス、今後の子ども関連施策の方向性も踏まえて慎重に検討すべきである。現状では教育部門と福祉部門に特化した人事異動は考えていないが、重要性は感じている。

問 子どもが抱える問題の直接的解決の端緒となる青少年相談センターを強化すべきでは。

市長 教育長とも重要な課題として共有した上で、来年度から予算増人員増を検討する。

問 子ども関連政策一元化の基本理念として子どもの権利条例制定を提案するがいかがか。

部長 本市では従来から児童憲章の精神を尊重し、子育て関連政策を推進しているので、現時点で子どもの権利条例の制定は考えていない。



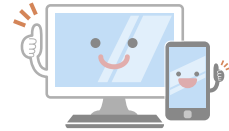
9月定例会の予定 9月10日(金)～10月12日(火)

日	月	火	水	木	金	土
9/5	6	7	8	9	10 ←開会	11
12	13	14 議案 審議 議運	15 総務	16 環境	17 産業	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27 決算	28 議運	29 決算	30 決算	10/1	2
3	4	5	6	7 一般 質問	8 一般 質問	9
10	11 一般 質問	12 閉会	13	14	15	16

11月定例会の予定 11月25日(木)～12月10日(金)

日	月	火	水	木	金	土
11/21	22	23	24	25 ←開会 議運	26	27
28	29 議案 審議	30 総務	12/1 環境	2 産業	3	4
5	6	7 一般 質問	8 一般 質問	9 一般 質問	10 閉会	11

インターネット中継でも視聴できます。
是非ご利用ください。



※議運…議会運営委員会、総務…総務文教委員会、環境…環境厚生委員会、産業…産業都市委員会、決算…決算審査特別委員会

◆定例会中は上記以外にも、正副議長・正副委員長会議、会派代表者会議、議会だより編集委員会などが随時開催されています。

◆日程は変更になる場合があります。間近になりましたら市議会事務局にお問い合わせください。

TEL:0544-22-1191



議会の豆知識

富士宮市議会議員の定数(条例で定められた定員人数)は22人ですが、現在の議員数は19人で、3人の欠員が発生している状況です(8月1日現在)。

公職選挙法の規定では市議会議員の補欠選挙は、欠員が定数の6分の1を超えた場合に行われます(例外あり)。当市議会に当てはめると、定数(22人)の6分の1は、3.66人となるため、欠員が4人になった場合には、補欠選挙が行われることがあります。

市議会議員10年表彰

議員在職10年を迎えた佐野和彦、松永孝男、小松快造、諏訪部孝敏の4人の議員に、全国市議会議長会及び東海市議会議長会から表彰状が贈呈されました。

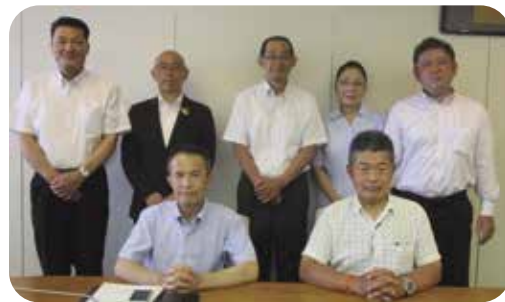


議会だより編集委員会

- ◎委員長 植松健一(前列左)
- 副委員長 佐野和彦(前列右)
- 委員 後列左から、佐野寿夫、辻村岳瑠、渡辺佳正、近藤千鶴、稲葉晃司

～植松健一委員長から～

私は編集委員を務めさせていただくのは今回で3回目になります。いかに多くの市民の皆様に、議会を身近に感じていただき、本誌を手にとって読んでいただけるかということが一貫した課題であると感じております。世の中が大きな転換期にある今、議会だよりも柔軟に変化し、志に向かって進んでいきたいと思っております。



▲新議会だより編集委員会

新型コロナウイルス感染症対策財源確保のため、今年度の議会だよりは従来のフルカラー印刷から2色刷り印刷(表紙・裏表紙のみカラー)に変更されています。